

2024年3月5日（火）八代会場 午前

川辺川ダム環境アセス準備レポート公聴会
公述内容

平山 信夫

私はまもなく75歳、球磨川のほとりで暮らしてきた。川と一緒に暮らし、川の生態などは十分分かっているつもり。

八代市の球磨川では濁りがひどい。土砂が堆積し、岩には泥が付き、青のりがまったく取れない。シルトが付いて青のりの養殖も難しい。この原因は何か。

昭和30年代まではある程度きれいだった。坂本町の製紙会社から流れていたが、透明度は3-4mあった。最近は1mない。川に入って足の先が見えない。普段は冬ならば生物の活性化が抑えられて雨も少ないから濁りが少ないはず。ところがこんな濁りが何年も続く。十数年前からずっとこんな状況。県が荒瀬ダムを撤去して、その後3年ぐらいは水がきれいになった。かなり。その時は青のりもいっぱい取れた。

ところがそれを過ぎると、石の上にシルトが堆積して、青のりが住む環境ではなくなった。これはアユの餌であるケイ藻やラン藻にもつながる。きれいな石でないとケイソウやラン藻はつかない。それでアユは減少する。ウナギも寝床に泥が詰まってしまう。もう悪いことばかりが続いている。その原因は何か。令和2年からこっちは、復旧工事のためある程度の濁りは仕方ないと私たちは思っている。しかし、その前からそういう状況が続いてきた。その原因はなんだろうと思って、瀬戸石ダムにたどりついた。

瀬戸石ダムは、国交省が堆積土砂が溜まって洪水を引き起こすということで、毎年何万立米も撤去している。撤去するとき水から掘り起こすので、洗われて砂利ばかりがトラックに積まれる。その時に濁った水は川で落として運ぶ。ということは川に泥砂ばかりが残る。それが少しの水が増すと流れてくる。ダム湖内でもおそらく対流があり、発電の際にも流れてくるのだと思う。

まず球磨川をちゃんとしたものにするには、瀬戸石ダムを撤去するのが一番だと思う。撤去しなければ洪水被害を引き起こす、環境影響を引き起こす（注：公述内では言い間違えのため訂正）。こういうダムは絶対に必要ない。

こういう状況が川辺川ダムでも起こりはしないか。水門を付けるなどあるが、貯まれば流れが無くなって土砂は沈殿する。それがまた水で削られて濁りを発生させる。平地や側面など、川でない場所にも溜まって、少しの雨で流されて濁りを発生させる。八代の状況と同じ。同じことが起きるのではないかと懸念。

川辺川、人吉地区あたりが八代化しないかと疑念を持っている。それを無くすためにどうするのか、具体的な対策を示してほしい。

それとダムのおかげで、川の生物は最近是非常に少なくなっている。まずは瀬戸石ダムを撤去し、球磨川を元に戻すことから始めるべき。その後で流水型ダムを議論してほしい。

また、過去の国交省が蓄積したデータは非常にごまかし、嘘が多い。一番危ないのは萩原堤、7.5km 地点が危ないと国交省はいう。確かに昭和 40 年、堤防の上から私は手を洗った。しかし、コンクリートで固めていなかった昔の堤防で十分、破堤も何もしなかった。その時は 7100 トン流れたから、6900 トン以上流れたから危ないと国交省は言う。ところが令和 2 年は 12,000 トン流れた。12,000 トン流れて、今度は天端から下に 2m を流れている。だが国交省は 6900 トンという数字を取り消した話を聞かない。川幅は広がって、6900 トンは天端から 4m 下である。

国交省のデータに間違いがある、信用ができない。だから川辺川ダムについても信用できない。

以上